

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年5月15日）

1 主な報告等

(1) メンタルヘルスセミナー（ラインケア）の開催結果について

委員から、ラインケアは非常に重要である。「職員がメンタルクリニックに通院していることを言わないことが問題ではなく、メンタル不調に気づかなかった職場に問題がある。」という趣旨の判例もある。業務だけでなく、プライベート上の悩みにも気にかけてほしい。しかし、上司がずっと部下の顔色を見ている訳にもいかないので、周囲の職員から情報を集めることが肝要である。上司には言えないけど、同僚なら話せることもある。周囲の職員に向けた意識付けも必要だ。また、休職者をカバーする職員が疲弊することのないような配慮も欠かさないでほしい旨の発言があった。

(2) 令和7年初任科学生による野外総合訓練の実施結果及び一般職員初任科第30期生の卒業式の挙行について

委員から、総合訓練の様子をテレビニュースで見た。警察学校に入校して短期間のうちに、全員がここまで走れるようになったことに感銘を受けた。全区間完走者や約60キロ走った女性もいるなど、非常に頼もしく感じる。ヒトの持久力は動物界の中でも屈指のものだと言われている。知力体力ともにどんどん鍛えてもらいたい。今後の活躍を期待している。昨年の訓練の様子をY o u T u b eで見たが、警察署前での先輩たちからの激励やゴールシーンなどとても感動したので、今年も編集して、S N Sを利用した警察官採用活動にぜひ活用していただきたい旨の発言があった。

(3) 文化財保護法違反事件被疑者の検挙について

委員から、このような事案は、目撃者からの通報が重要だと思う。幼児がけしの花をみつけ、それが栽培禁止なものとなり警察への通報につながったという話を聞いたことがある。オカヤドカリの捕獲は違法であることを、一般の方や配送業者などへ広く周知することが大切だ。生態系にも影響を与える犯罪なので、しっかり取り締まっていただきたい旨の発言があった。

(4) ゴールデンウィーク期間中の水難事故防止対策の実施について

委員から、県民はもちろんのこと、観光客の水難事故防止対策が重要だと感じた。一つ一つの事故を深掘りして、どのような経路でこの事故へ至ったのか分析してほしい。観光客ならば、空港から入ってホテルやマリン関連ショップに立ち寄ってビーチへ至るなど、共通した導線が現れると思う。空港での集中的な広報や、マリングッズを購入する際には安全動画を必ず見てもらうなど、動向に応じた効果的な対策を講じてほしい。また、関係機関とも積極的に連携し、水難事故を減らしていただきたい旨の発言があった。

(5) ゴールデンウィーク期間中の交通事故発生状況等について

委員から、交通事故も観光客の事故が多いと感じた。幸い大きな事故はなかったものの、せっかくの観光なのに事故に遭えば、残念な思い出につながってしまうだろう。7月には本島北部にテーマパークも開業し、全県的な車の流れが大きく変わる可能性もある。連休中の事故を分析して、今後のレジャーシーズンの対策にもつなげていただきたい旨発言があった。

(6) その他

警察本部から、連休中の水難事故、交通事故ともに観光客、特に外国人によるものが顕著であった。背景には、私共が気づいていないような環境や文化の違い等があるかもしれないことから、しっかり分析して、事故防止対策に取り組みたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て苦情の受理について
- ・ 公安委員会関係報告
- ・ 裁決書の事前説明について（2件）

(2) 刑事部

- ・ 刑事事件の説明について

(3) 交通部

- ・ 令和7年度安全運転管理者講習業務委託に係る公安委員会認定審査について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(4) 警備部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について